

< 3月第1例会議事録 >

書記 杉本隆人

- ・日時：2017年3月16日
(木曜) 19:00~20:40
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：佐伯、杉本、館、
達、田辺、丹家、長坂、
中村、西田、野呂、檜木、
藤井



メネット・コメント：佐伯、杉本2、宗利

- ・ゲスト：楯屋広明、紀子、岡峯隆子、中村恵子、
井元加津子、国代昭子、海堀裕紀子、角野万里子、
苗村則子、河本功子、上嶋初子、海堀種男、濱野秀
子、山本善子、秋元直美、近藤廣子、関京子、関幸
美、畠山美津子、畠山基、小倉多恵子 (以上記名
者21名、ほか5~6名が無記名にて参加)

1. 開会式

- (1) 開会点鐘、ワイズソング斉唱、今月の聖書朗
読、
- (2) ゲスト・ビジター紹介：梶田美奈子氏、久保明
美氏
- (3) 3月の誕生日のお祝い：宗利潔 (3/3) 藤井久
子 (3/4) 中村晶子 (3/5) 西田君枝 (3/6) 野呂隆 (3/10)
田辺千世 (3/24)

2. ヘルマンハーブコンサート

演奏者：アンサンブル・リーベ (梶田美奈子氏、久
保明美氏)

ヘルマンハーブとは、ドイツ人のヘルマンさんが自
分のダウン症の息子でも弾ける優しい楽器として開
発されたもので、音色の良いハーブに似た比較的小さ
な楽器です。

演奏曲目は、メニューエット (ト長調、バッハ)、メ
ニューエット (パルティータ1番より、バッハ) などの
クラシックから、さくらさくら、北の国から、少年
時代、浜辺の歌、女一人、見上げてごらん夜の星をま
で、静かな曲なら何でもありでした。



そして最後に、おぼろ月夜、故郷を皆で合唱し、親
近感あふれる楽しい盛大なコンサートになりました。
多くのゲストが来てくれたことにも感謝です。

3. 4月の予定

- (1) 4月20日 (木) 第一例会 「ロコモティブ・
シンドローム」
講師 美崎晋氏 (神戸クラブ会長 整形外科医)
- (2) 4月15日 (土) 六甲部第2回評議会が賀川記
念館4階チャペルにて開催
予定参加者：佐伯、杉本、館、田辺、中村、長坂、
野呂、檜木、

4. その他

- (1) 長浜クラブ30周年記念例会
4月1日、北びわこホテル、藤井会長参加予定
- (2) YMCAから六甲山YMCAワーク (評議会と重
なっており時間調整必要)

< 4月事務例会議事録 >

書記 杉本隆人

- ・日時：年4月6日 (木曜) 19:00~21:00
- ・場所：西神戸YMCA
- ・出席者：阿部、佐伯、杉本、館、達、田辺、長坂、
中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)
- メネット：阿部

1. 報告事項

- (1) 第20回西日本区大会 参加登録申し込み
日時：6月10日 (土) 11日 (日)
参加者：杉本、田辺、藤井
- (2) クラブ会長・総主事懇談会 (3/11) 報告…杉本
5月8日(月)神戸YMCA創立記念日礼拝
5月13日(土)三宮会館竣工記念式典
5月14日(日)ボランティアリーダー委嘱式 (補助
金10,000円)
5月27日(土)宝塚バザー、次期六甲部役員会
6月30日(金)神戸YMCA定期総会
- (3) 第2回六甲部評議会出席者確認
日時：4月15日 (土) 15:00~17:30

場所：賀川記念館4階チャペル

出席：佐伯、杉本、田辺、長坂、中村、野呂、
檜木、

(4) 2017-2018 年度ロースター原稿校正

2. 協議事項

(1) 4月・5月例会

・4月20日(木) 第一例会 「ロコモティブシン
ドローーム(ロコモ運動器症候群)とは」

講師 美崎晋氏(神戸クラブ会長 医療法人首藤
病院院長・整形外科医)

パンフレット・ペーパー資料 50部持参。

内容：まず、ロコモという内容での簡単なレクチャー、
ロコモチェック、ロコトレの実践、
質疑応答

・4月15日(土) 六甲部第2回評議会

・5月18日(木) 5月第1例会「フラ」

石田由美子氏、関西学院大学フラ部

< 会員投稿 1 >

“The duty that accompanies every right”

田辺征一 メン



日頃、なんとなく心にとめて
いる言葉にワイズメンズクラブ
のモットー「義務はすべての権利
に伴う」(表題参照)がある。こ
れは「義務を伴わない権利はな
い」と訳した方がわかりやすい。近年、一方的に権利
を主張し、そのことによって引き起こされる他への影
響や問題性に気付いていないケースが増えているよ
うに思える。モンスターペアレンツはその一例であ
ろう。

最近の天声人語に、東日本大震災後、電力使用量を
震災前の1/5に削減した会社経営者の言葉があっ
た。いわく「震災前は電気のことを考えたこともな
かった。でも原発事故は政府と電力会社だけの責任
じゃない。好き放題使ってきた私たちの問題でもあ
ると気付きました」。電気代を払っているから、い
くら使おうが自分の権利だ、と多くの人は何の疑問も持たない。
企業も行政もGNPアップの名のもとに市民のあ
くなく需要にこたえてきた。しかし、地球という限
りある環境に住まわせてもらっている者として、む
やみの消費はひかえる義務がある、と気付く人は
少ない。

また、電車では車掌が車両を巡回するとき、入口
と出口でいちいち脱帽して挨拶をする。最近、ス
ーパーでも店員が売場から事務所に出入りするた
びに店

内に向かってお辞儀をする。これらのことを快く思
う人がどれほどいるのかわからないが、私は何かし
らの不自然さを覚える。企業側は顧客に感謝を表す
義務があり、客側は感謝を受ける権利がある、と
多くの人は思っているのだろうか。主・客の関
係は絶えず入れ替わるのに。

イエスは、「わたしたちの負い目を赦してください。
わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたよ
うに」(マタイによる福音書6章12節)と祈るこ
とを教えている。人は、ともすれば人間関係を縦
の関係でとらえがちである。「恩義がある」とか
「貸しがある」ということが大きく影響する。

イエスは「人と人との関係は、借りがあるとか
ないとかで成り立っているではありませんよ」と
言われる。一人ひとりのいのちの尊厳は人間の思
いで左右されるものではない。人と人のつながり
には、権利の主張の前に人を思いやる義務が必要
であることをうたっている。

< 会員投稿 2 >

Lawn Bowls ツアー

合田純二 メン

・期間：3月10日出発19日
帰国
・行き先：香港、深圳、珠海
・参加人数：8名
・日程：11~12日香港ツアー、
13日移動日深圳へ、14~15
日深圳ツアー、16日移動日、
珠海へ、17日決勝ラウンド、男子8位以内、
女子4位以内で。18日はマカオへ1日観光旅行。



7年連続で参加中

今回はLCCのピーチを利用した。そのため早朝に
家を出て、先ずはベイシャトル乗り場へ5時10分
前についたが、ドアは閉まっていた。5時オープン
とのことで、寒い中、外で待機。

関空第2ターミナルに到着。以前と異なり免税店
も整い、少しは良くなっていた。因みにわたくし
は2回目の利用でした。

香港空港に着いて、まず感じたことは去年と比
べて涼しく、どんよりとした天候。空港よりタク
シーで50分後にホテル到着。チェックイン後すぐ
練習場に行き、打ち合わせの後、夕食は現地ボウ
ラーと共に和気あいあい楽しかった。

翌日は香港での試合。男子67、女子42チーム
で争う。初日、男子は35位、女子は21位までが
上位グループ、下位のグループはそれぞれ36位、
22位から、

翌日はそれぞれのグループで順位意を争うという方式。

男女とも、初めて上位グループに入ったが、残念ながら上位入賞はできず。

12日の決勝戦後は Presentation Dinner があり、獅子舞もあり盛り上がったが、参加人数が多く、buffetスタイルの為、料理を取るまでに時間がかかり大変だった。また終了時間が11時頃と遅く、時差の関係でグッタリの人。

翌朝、深圳に向けバス3台で移動。定刻になっても全員集合ができないのは例年と同じ。今回、国境での出入国管理審査は1回で済み、大助かり。前回はホンコンサイドで出国審査、その後、中国再度で入国審査と別々の場所だった。その都度全荷物をバスから持ち出し、またバスに持ち込むので時間と手間がかかり面倒だった。

深圳では男子20、女子7チームで競う。そして男子8、女子4チームが珠海で決勝ラウンドに進む方式。日本チームは男女ともにあと一步という結果に終わった。予選落ち、残念。

マカオ1日観光旅行

珠海と隣接のマカオは元ポルトガル領、1国2制度のもと経済発展中。今はカジノの街として有名になり、かのラスベガスを超えた存在。タイバ島とコロアン島の間を埋め立てし、ホテルを建て、中にカジノがある。日本もカジノ建設推進議論があるが、行ってみると、観光客が多く、活気があると思った。けれども、客が付かず手持ち無沙汰のディーラーもいた。客の滞留時

間は何時間ぐらいか疑問に思った。我々はぶらぶら近くを散歩するくらいの時間しかなかった。

何となく感じたこと

それは、香港も中国の大気汚染の影響があり、青空を見ることができなかった。陽射しは深圳への移動日に少し時間だけ、天気が悪かったせいかも。

次に深圳はまだまだ建築中の高層ビルが多く、活気に溢れていた。表通りは近代、裏通りは古い住宅や商店街があり、新旧の対比が面白い。

次に、珠海はもともと漁師町かと思うが、今ここに保税上屋もでき、周辺は開発中で高層ビルの建設が進行中。香港のような国際都市を目指しているのか、何せ国土が広いので規模がすごいと感じられ、日本の行く末に一抹の不安を感じる。

TV放送

以前は香港、中国共にBSNHKが日本語で放映されていたが、今回、香港は英語のみ、中国は放映なし。そのため珠海では仕方なくドラマを見て時間つぶしをしたが、戦争中のものが多かった。日中関係の悪さが感じられた。

今月の聖句

実によって木を知る

「悪い実を結ぶ良い木はなく、また、良い実を結ぶ悪い木はない。木は、それぞれ、その結ぶ実によって分かる。茨からいちじくは採れないし、野ばらからぶどうは集められない。善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。人の口は、心からあふれ出ること語るのである。」(ルカによる福音書第6章43～45節)

三浦綾子さんは「人間は弱い者である。たとえ幾多の才があっても、大きな意欲があっても、『ダメな奴』と言われればたちまちぼんでしまう。逆に、才がなくても氣力がなくても、相手の一言によって生きる力を与えられる」(『忘れえぬ言葉』)と書いている。

「口に入るものは人を汚さず、されど口より出づるものは、これ人を汚すなり」口に入るものは腹を通り厠に落ちるが、口から出るもの、すなわち心から出てくるものは人を汚すことがある、とイエスは説いている。

私たちが口にする言葉やそれにとまなうおこないを軽く考えてはいけいけいだけでなく、「善い木」「善い倉」言葉やおこないを生み出す「心の倉」に目を向けることが求められている。

～齋藤孝著『声に出して読みたい新約聖書』草思社より～